

2012.10

アルプス  
で楽しむ  
紅葉日和

北アルプス

中房温泉〜燕岳〜常念岳

澄みわたる秋空のもと、

槍・穂高の展望ロードを縦走する

北アルプス南部の燕岳つげから常念山脈へと縦走するコースはパノラマ銀座と呼ばれ、槍・穂高の雄姿を望みながら快適な稜線歩きができるコース。9月下旬になると稜線付近のナカマドやダケカンバが色づきはじめ、稜線を美しく彩る。ここでは、燕岳から常念岳へと縦走する2泊3日のコースを紹介しよう。

黄葉したカラマツも見られ、快調に高度を上げていける。やがて樹林がまばらになりはじめ、展望が開けてくると合戦小屋に着く。この付近ではナカマドやダケカンバの黄・紅葉がみごとだ。小屋を過ぎて急坂を登ると合戦沢ノ頭に出る。森林限界を越えて展望が一気に開け、燕岳から大天井岳へと続く山並みが見渡せるようになる。

合戦沢ノ頭から、正面に見える燕山荘に向かってゆるやかに登っていく。主稜線に出ると、まもなく燕山荘に着く。山荘付近からは、白い花崗岩と緑のハイマツ、そしてナナカ



合戦尾根ではポイントごとにベンチが置かれている(富士見ベンチ)



色づきはじめて合戦尾根と有明山を振り返る



白い花崗岩がまぶしい燕岳。燕山荘付近から

撮影||内田修



花崗岩のめだつ燕岳から、大天井岳へと連なる主稜線を眺める

マドの紅葉に飾られた燕岳の眺めがすばらしい。

小屋にザックを置いたら燕岳を往復してこよう。稜線を北にたどり、花崗岩の間を抜けると燕岳山頂だ。山頂からはワイドなパノラマが楽しめ、南に槍・穂高、北に剣・立山や後立山連峰が眺められる。展望を楽しんだら、燕山荘へもどろう。

第2日 小屋を出発して南へ向かう。正面に槍ガ岳を見ながらのびやかな稜線上を進み、蛙岩、為右衛門吊岩を過ぎる。切通岩を過ぎると分岐に出て、槍ガ岳へと続く表銀座縦走路と分かれて左へ行く。大天井岳の肩には大天荘が建ち、ここから右手に少し登ると大天井岳の山頂に立つ。山頂からは常念山脈をはじめ、すばらしい展望が広がる。

大天井岳から南へ下って砂礫の稜線を進む。右手に槍・穂高を眺めながら東天井岳、横通岳のピークを巻いていく。横通岳付近ではウラシマツツジの紅葉が鮮やかだ。

正面にどっしりとした常念岳を望みながら横通岳を過ぎると、眼下にこの日の宿となる常念小屋が見える



ハイセンスな施設のそろう燕山荘は、サービスもグッド



標高2857m、展望に恵まれた常念岳の山頂



常念岳山頂付近から、朝日に染まる槍ヶ岳の迫力ある姿を望む

ようになる。尾根上をジグザグに下れば小屋の建つ常念乗越に着く。  
**第3日** この日は常念岳を往復したあと、一ノ沢へと下山する。日程に余裕があればさらに蝶ヶ岳へと縦走して上高地へ下山するとよいだろう。小屋を出て尾根道を南にたどる。前常念岳への道を左に分けたあと、岩礫の急斜面をジグザグに登って前常念からの道が合流すると、常念岳の山頂に着く。祠のある山頂からは、槍・穂高をはじめとする大パノラマが楽しめる。

**DATA**

**コースタイム** 第1日=中房温泉(1時間10分) 第二ベンチ(1時間50分) 合戦小屋(1時間) 燕山荘(30分) 燕岳(25分) 燕山荘 計4時間55分  
 第2日=燕山荘(2時間10分) 切通岩(45分) 大天荘(10分) 大天井岳(1時間5分) 東天井岳(1時間20分) 常念小屋 計5時間30分  
 第3日=常念小屋(1時間) 常念岳(40分) 常念小屋(40分) 胸突八丁(1時間20分) 王滝(50分) 一ノ沢山岳補導所 計4時間30分  
**アクセス** 中房温泉へは大系線穂高駅からタクシーで45分。一ノ沢山岳補導所からもタクシー利用となり、40分で大系線豊科駅へ。タクシーは常念小屋から公共電話で予約できる。南安タクシー☎0263-72-2855  
 山小屋 燕山荘☎0263-32-1535、常念小屋☎0263-35-9706  
**ガイドブック** アルペンガイド15『上高地・槍・穂高』、フルカラー特選ガイド『槍・燕岳を歩く』(山と溪谷社)  
**地形図** 2万5000分ノ1=信濃小倉・穂高岳・槍ヶ岳・有明、5万分ノ1=松本・上高地・槍ヶ岳・信濃池田  
**紅葉の見ごろ** 稜線付近は9月下旬~10月上旬。  
**アドバイス** 東天井岳付近では二ノ俣方面に入り込まないように注意しよう。



北アルプスの雄峰に見守られるように建つ常念小屋



色づいた木々におおわれた一ノ沢に沿って下る

常念小屋までもどいたら、東へ向かおう。胸突八丁の急坂を下り、笠原沢を渡る。色づいたダケカンバやカエデを見ながら一ノ沢に沿って下

っていき、ベンチのある王滝、大きなトチノキの立つ山ノ神を過ぎる。傾斜もゆるやかなると山岳補導所の建つ一ノ沢の登山口に着く。

日本百名山  
**常念岳**  
 2857m

槍・穂高のパノラマ  
 岳樺の黄・ナナカマドの紅



常念岳と常念小屋

“今年の常念の紅葉は  
 九月半ばすぎから・・・”

日本アルプス Since1919

**常念小屋**

小屋直通電話0263-35-9706